

太郎山山行報告

【山行日】 2014年 6月 15(日) 晴れ時々曇り

【集 合】 栃木市運動公園P AM 6:00

【費 用】 マイカー1台 : 1,300円

【メンバー】 A CL:鈴木、梶内、島田、関、福田
B CL:大西、田村

【コースタイム】A: 栃木市運動公園 P6:00＝山王峠
7:45～山王帽子山 8:40～ハガタテ薙分岐 9:20～
小太郎山 10:20～太郎山 11:05/12:10～お花畑 12:30
～新薙登山口 14:40＝栃木市運動公園 P16:35

B: 山王峠 7:35＝新薙登山口 8:10/8:20～お花畑 11:00～太郎山 11:45/12:10 他はAコースと同じ

太郎山は人気があり、登りたいとリクエストが沢山あった。ベストコースで登りたいと考えていたがTさんも登りたいと言うので迷っていたら、O嬢がTさんと二人で新薙コースを行ける所まで登ると言ってくれたので、2コースに分けて登ることになった。

A班を山王峠登山口まで送ってもらいB班の二人は新薙コース登山口に向かった。

A班はスツレッチを済ませ、小さくて分かりにくい「太郎山」の標識を確認し、登山道へ入った。



針葉樹林帯の中、低い笹が茂る細い登山道に登って行く。いきなりの急登で汗が噴き出すが、少し高度を上げると涼しい風が吹き抜け気持ちが良い。所々針葉樹林が広葉樹に変わり、後ろを振り返ると奥白根山が堂々と聳えている。さらに高度を上げると燧ヶ岳や会津駒ヶ岳が見えるようになり、やがて山王帽子山へ着いた。山頂は眺望は余り良くないが、少し先の南側が開けており男体山や戦場ヶ原が良く見える。

山頂から150m位下り登り返すとハガタテ薙分岐に出るが、標識の文字が消えていて分かりにくい。皆さん元気で快調に歩き、コースタイムより45分早い。分岐から15分登ったところで休憩し、冷たくて甘いスイカで喉を潤す。ここから小太郎山への急登を登って行くが、シャクナゲやコイワカガミ、キスミレの可憐な花が出迎えてくれる。花に癒されながら登ると小太郎山の山頂へ着いた。小太郎山山頂からは360度の大きなパノラマ。記念写真を撮り、パイナップルを食べて山座同定を楽しむ。ここからの奥白根と男体山は雄大で、日ごろ見ている角度と違う景色が素晴らしい。

このコースを歩かないと見られない眺望だ。小太郎山から太郎山へ向かう登山道は、岩稜の痩せ尾根を歩く道。スリルを楽しみながら慎重に歩く。登山道にはコイワカガミが両側を埋め尽くし楽しませてくれる。残雪の斜面を登り、新薙コースからの登山道を合わせると間もなく山頂に着く。

山頂は広く太郎山の標識と祠が2つ並んでいる。大勢の登山者が昼食休憩を取っており、我々も早速記念写真を撮り昼食の準備にかかる。今日の山ごはんは特製の具沢山焼うどん。



昼食を食べながら新薙コースから登ってくる二人を待つが、なかなか登ってこないで下山することにする。20人の団体も下山準備をしていたので「どちらから登りました。？」と聞くと「新薙コース



からです。」との返事なので、「女性二人の登山者を見ませんでしたか。？」と聞くと「登り始めは一緒でした。」との事。もう登ってこないと思い、団体よりも先に下らせてもらおうと出発すると、新薙コース分岐で二人と出会った。我々と後ろの団体から歓声が沸く。Tさんは83歳で太郎山初登頂。皆さんから「凄い！！」「よく頑張ったね」と声を掛けられ、満面の笑みで応えていた。

制限時間5分前の到着だが、本当によく頑張ったと思う。何はともあれ全員で記念写真を撮り、二人はゆっくりと昼食の冷やし中華を食べながら、山頂からの眺望を楽しんでいた。

ゆっくり休んで全員で下山する。お花畑までは景色や花を楽しみながら余裕で下るが、そこから先は大変な下山になった。急降下に加えて段差が大きい箇所が連続し、ロープを頼りに降りるので時間が掛かる。男体山やシャクナゲの花を楽しみながら、とにかく怪我しないようゆっくり慎重に下った。

コースタイムよりも1時間余分に掛けて登山口に着いた。

登山口には我々の車だけが止まっていた。

帰りの車の中で皆さん口を揃えて「太郎山は眺望が最高だし、お花も綺麗で素晴らしい山だね。」と

満足そうに話していた。

